

# インマヌエル中目黒キリスト教会

## 2016年4月17日聖日礼拝

---

召天者記念礼拝に臨み

「生きる幸い、死ぬ幸い」

ピリピ人への手紙1章20節-25節

竿代照夫牧師

# 聖書朗読 新約聖書

## ピリピ人への手紙 1章20節～25節

聖書本文は新改訳聖書第三版  
(©新日本聖書刊行会)を使用しています  
第二版の聖書は 351 ページ  
第三版の聖書は 383 ページ

20 それは私の切なる祈りと願いにかなって  
います。すなわち、どんな場合にも恥  
じることなく、いつものように今も大胆  
に語って、生きるにも死ぬにも私の身に  
よって、キリストがあがめられること  
です。

21 私にとっては、生きることはキリスト、  
死ぬことも益です。

22 しかし、もしこの肉体のいのちが続く  
としたら、私の働きが豊かな実を結ぶこ  
とになるので、どちらを選んだらよいの  
か、私にはわかりません。

23 私は、その二つのものの間に板ばさみ  
となっ<sup>て</sup>ています。私の願<sup>い</sup>は、世を去<sup>っ</sup>  
てキリストととも<sup>に</sup>いること<sup>で</sup>す。実<sup>は</sup>  
そのほう<sup>が</sup>、はるかにま<sup>さ</sup>っています。

24 しか<sup>し</sup>、この肉<sup>体</sup>にとど<sup>ま</sup>ることが、  
あ<sup>な</sup>た<sup>が</sup>た<sup>の</sup>た<sup>め</sup>には、も<sup>っ</sup>と必<sup>要</sup>です。

25 私<sup>は</sup>このこ<sup>と</sup>を確<sup>信</sup>して<sup>い</sup>ますから、  
あ<sup>な</sup>た<sup>が</sup>た<sup>の</sup>信<sup>仰</sup>の進<sup>歩</sup>と喜<sup>び</sup>と<sup>の</sup>た<sup>め</sup>  
に、私<sup>が</sup>生<sup>き</sup>な<sup>が</sup>ら<sup>え</sup>て、あ<sup>な</sup>た<sup>が</sup>た<sup>す</sup>  
べ<sup>て</sup>と<sup>い</sup>っ<sup>し</sup>ょ<sup>に</sup>い<sup>る</sup>よ<sup>う</sup>に<sup>な</sup>るこ<sup>と</sup>を  
知<sup>っ</sup>て<sup>い</sup>ます。

# 説教

召天者記念礼拝に臨み

「生きる幸い、死ぬ幸い」

ピリピ人への手紙 1章20節-25節

竿代照夫牧師

## 主テキスト

私にとっては、生きることは  
キリスト、死ぬこともまた  
益です。

(ピリピ 1 : 2 1 )

はじめに:

使徒パウロの死生観の  
告白から学びたい

A. 死ぬ幸い

1. キリストにお会いできるから

- ・ローマ獄中からのピリピ書:  
「死」を意識せざるを得ない状況

# A . 死ぬ幸い

## 1 . キリストにお会いできるから

### ・死を望む：

「私の願いは、世を去ってキリストとともにいることです。実はそのほうが、はるかにまさっています。」



# A . 死ぬ幸い

2 . 死によってキリストの素晴らしさを  
示せるから

- ・ 栄光の死を通してキリストの素晴らしさを示す

## B. 生きる幸い

1. 多くの人々を助けることができるから

・ 生きることはピリピ信徒の益:

「もしこの肉体のいのちが続くとしたら、私の働きが豊かな実を結ぶことになる。」

## B . 生きる幸い

1 . 多くの人々を助けることができるから

・それは必要でもあった：

「この肉体に留まることが、あなたがたのためには、もっと必要です。…  
あなたがたの信仰の進歩と喜びとのために、私が生きながらえて、あなたがたすべてといっしょにいるようになることを知っています。」

# B. 生きる幸い

## 2. 自分の身によってキリストの素晴らしさを示せるから

- ・キリストがすべてという人生観：  
「生きるのはキリスト」
- ・変えられた人生を通して主の素晴らしさを実証：  
「私の身によって、キリストのすばらしさが現わされる」

## B . 生きる幸い

- ・「土の器」に盛られた宝：  
「私たちは、この宝を土の器の中に入れて  
いるのです。それは、この測り知れない  
力が神のものであって、私たちから出た  
ものでないことが明らかにされるため  
です。」(2コリント4:7)

おわりに:

先輩たちが  
抱いた「宝」に  
目を留めよう